

令和6年度 第4回 FD・SD研修会

「データマネジメントプラン(DMP)から始まる研究データ管理と活用」 ～研究公正、研究IR、オープンサイエンスの観点から～

日時 令和6年11月20日(水) 13:30～15:00

開催形式 オンライン配信(Zoom)・後日オンデマンド視聴可能

対象 加盟高等教育機関の教職員

事前申込みはこちらから

<https://ws.formzu.net/dist/S46210048/>

※申し込み締め切り 11月18日(月) 午後5時



参加費

無料

事前申込
必要

講師 金沢大学 笠原禎也 学術メディア創成センター長



略歴

1989年 京都大学工学部卒, 同大学院を経て1992年より京都大学助手。
2002年 金沢大学工学部に着任。
現在, 金沢大学 学術メディア創成センター 教授・センター長,
名古屋大学 宇宙地球環境研究所 客員教授,
大学ICT推進協議会(AXIES)理事,
科学衛星による電磁波計測, 衛星搭載用ソフトウェア受信器開発,
科学データからの知識発見等の研究に従事。博士(工学)。

概要

世界的なオープンサイエンスの流れに沿って、学術論文の即時オープンアクセスや研究データの適切な管理・利活用の促進が、政府指針として掲げられています。令和6年度から科研費採択研究課題でもデータマネジメントプラン(DMP)の作成が求められるなど、公的資金の助成を受けた学術論文のオープンアクセス、研究データの適切な管理が我々に要求されています。

こうした求めへの対応が、事務や研究者の負担増だけを招くと、研究力、教育力の低下になりかねません。逆に、運用ルールとシステム化をセットで進め、研究データの管理・公開・活用にかかる事務と研究のDX促進を図ることができれば、研究公正、研究IR、オープンサイエンス、さらにはオープンイノベーションへと、研究活動の活性化につなげることも期待できます。

本研修では、これらを取り巻く状況の概観から始まり、国立情報学研究所のサービスである学認、GakuNIN RDMの利用例と申請手順、金沢大学が取り組みを進めるルール作りとRDM作成支援・活用ツール等を紹介し、研究活動のDX、他大学との安全なデータ共有等への展開の可能性を実感いただけることを目指します。

主催：UC^U 名古屋情報学
大学コンソーシアム石川

共催：第3回北陸地区研究データ基盤セミナー